

科目名	カラーコーディネーション				
担当教員	木下 聡子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	<p>色の基本的な仕組みや、人に与える心理効果を学び、配色の基本や環境の事例を通して学ぶ。。</p> <p>1. 色の働きと分類、視覚効果の基礎と重要性を学ぶ。</p> <p>2. 人の心理と関係が深いことを認識し、環境に適した配色を理解する。。</p> <p>3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。</p>				
学習目標 (到達目標)	色彩の基礎を学び、効果的なカラーコーディネートが出来るようになることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	色彩検定公式テキスト 新配色カード199用演習台紙 配色カード				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	概要説明 ①科目概要について ②色の働きについて		科目概要について 色の働きについて (色の働きの種類と内容が説明できる)		
2	色の表示 ①色の分類と三属性 ②カラーオーダーシステムについて (色の三属性、PCCS等について説明できる)		色の分類と三属性・カラーオーダーシステムについて (色の三属性、PCCS等について説明できる)		
3	光と色 ①光と色の関係について (色はなぜ見えるのか説明できる)		光と色の関係について (色はなぜ見えるのか説明できる)		
4	色彩心理－1 ①色の心理的効果について (色の三属性と心理効果について説明できる)		色の心理的効果について (色の三属性と心理効果について説明できる)		
5	色彩心理－2 ①色の視覚効果について (色の対比現象等について説明できる)		色の視覚効果について (色の対比現象等について説明できる)		
6	色彩心理－3 ①色の知覚的効果について (色の錯視等について説明できる)		色の知覚的効果について (色の錯視等について説明できる)		
7	色彩調和 ①配色の基本的な考え方 ②三属性及びトーンから見た考え方、 ③配色技法		配色の基本的な考え方、技法について (基本的な考え方、三属性及びトーンから見た考え方、 配色の技法について説明できる)		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
小テスト、課題、平常点を総合的に判断して評価する。 (課題を100%提出していない場合は評価の対象外とします。) 課題60%、小テスト35% 平常点5% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			インテリアにおいて色彩は重要な要素のひとつです。色彩の基礎をしっかりと身につけて色を使いこなせるよう、定期的に小テスト等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴	店舗内装、撮影衣装などに関する色のアドバイス等の業務に17年携わる。				